

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	②地域福祉	2	地域福祉を支えるネットワークの整備

事業名	独居高齢者等見守り事業	担当課名	高齢介護課
-----	-------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
高齢化が進み、また、地域住民同士のつながりも希薄化する中、孤立死といった事案の発生を予防し、支援を要する高齢者等の状況をできるだけ早期に発見し、適切な支援につなげる。
(事業概要等)
本人同意のあった70歳以上のひとり暮らし高齢者の名簿を民生委員・児童委員へ提供し、見守り訪問等により、地域の実態把握に努める。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	337	3,047	352	479	
うち市負担分(千円)	337	1,500	352	479	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
すこやか訪問登録者数	人	1,129	1,070	1,197	1,300
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
ひとり暮らしの高齢者からの相談内容に応じて、必要な支援を受けることができるよう、民生委員・児童委員が行政や専門機関等へつなぐことにより、課題が解決が図られている。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	民生委員・児童委員の意見交換を行い、提供名簿の様式修正などを行い、関係者間の連携強化を図った。
--------------------	---

【事業の課題】

課題・問題点	今後も高齢化により見守り事業を希望する高齢者の増加が想定されることから、民生委員・児童委員の業務量が大きくなってきており、他の福祉関係団体との連携を図る必要がある。
--------	--

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	本事業の実施により、ひとり暮らし高齢者の課題解決につながっており、今後も見守り体制の強化を図っていく。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	③高齢者福祉	1	介護予防の推進

事業名	あしゆびプロジェクト事業(高齢介護課)	担当課名	高齢介護課
-----	---------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

高齢者の多くは、あしゆびに何らかの異常を抱えており、バランスがとりづらく、転倒の原因となっている。介護予防の一環として、あしゆびセルフケア・あしゆび運動・あしゆび体幹運動などを普及啓発し、高齢者の体幹機能やバランス機能を向上させることにより、転倒を予防し健康寿命の延伸を図る。

(事業概要等)

あしゆびについてのセルフケアやおづみんあしゆび体操等の普及啓発や、あしゆびと体幹機能の強化を図るため、自主サークル等への運動指導士の派遣や体幹バランストレーニングを取り入れた運動講座等を開催する。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,114	3,810	5,228	6,317	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
あしゆびモニターサークルへの出前講座	回	20	13	15	18
あしゆびの普及のための出前講座	回	34	77	75	60

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

あしゆびセルフケアを実践している人が多く、あしゆび体操は一定、普及・浸透しており、普及啓発においては成果は上がっている。

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	自主サークルに対して重点的にあしゆび体操を指導しているが、一般の高齢者も気軽にあしゆびセルフケアの取組ができるように、街かどデイハウスやシルバーハウジングなどに対してパンフレットの配布を行い事業内容の周知を行った。また、正しい姿勢と正しい歩行を学び、運動習慣を身につけ、健康寿命を延ばすことを目的にあしゆび運動講座を実施し、連続講座(全6回)の最終回はシーパsparkでの屋外ウォーキングを実施した。
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	健康寿命の延伸に向けては、日常的な運動が重要であることから、あしゆびセルフケアやあしゆび体操については、引き続き普及啓発が必要である。また、運動の効果検証を行い、その結果を広く市民に周知・公表することも必要である。
--------	---

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	あしゆびを鍛えることで、体幹が鍛えられ転倒予防に有効であるので、今後も継続して事業を実施する。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	③高齢者福祉	1	介護予防の推進

事業名	高齢者介護予防事業	担当課名	高齢介護課
-----	-----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
保健師、看護師など専門職種による一般介護予防事業を通じて高齢者が要介護状態となることを予防するとともに、要介護状態になった場合においても、可能な限り、住み慣れた場所で自立した生活ができるように支援する。
(事業概要等)
1. 閉じこもり等支援を要する者を把握し、介護予防活動への動機づけ及び福祉サービス等必要な社会資源の情報提供を行う介護予防把握事業。2. 介護予防活動の普及・啓発を目的に運動講座等を実施する介護予防普及啓発事業。3. 地域における住民主体の介護予防活動の育成・支援を目的に自主サークル等への専門職を派遣する地域介護予防活動支援事業。4. 地域における介護予防の取組強化のため、リハビリ専門職による支援を提供する地域リハビリテーション活動支援事業。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,643	4,084	8,973	21,323	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
出前講座実施回数	回	3	26	21	30
介護予防普及啓発事業参加者数	人	1,007	1,257	3,048	3,100
介護予防地域活動支援事業 (指標を設定できない理由)	回	6	62	46	60
(成果の概要)	日常生活の中で介護予防事業に取り組み、高齢者の身近な通いの場としての体制づくりができています。				

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	感染症対策を行いながら既存事業の再開、新規事業を実施することで、高齢者の介護予防活動を推進することができ、事業参加者数も感染症前の水準に戻りつつある。また、認知症予防フォーラムの開催やあたま活き活き体操を開催し、認知症予防への取組を実施した。
--------------------	---

【事業の課題】

課題・問題点	新型コロナウイルス感染症の感染拡大時において、閉じこもりがちな高齢者が増え、フレイル状態が進行している高齢者が増えている可能性がある。
--------	---

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	住み慣れた場所で自立した生活をするために、介護予防に関する各事業の実施は必須であり、各事業を効果的に実施することで要支援・要介護認定者数の減少をめざす。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	③高齢者福祉	2	認知症対策の推進

事業名	認知症検診事業	担当課名	高齢介護課
-----	---------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
認知症の早期発見と適切な医療等へつなぐなどの対応を進めることにより、高齢者の健康維持に寄与する。
(事業概要等)
65歳以上の市民で認知症の治療または診断を受けていない人を対象に、年1回無料で、市内の認知症サポート医のいる医療機関にて、認知症検査(認知症簡易検査)を実施する。

【事業費】

項目/年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	/	701	828	1,812	
うち市負担分(千円)	/	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
認知症検診(もの忘れ検診)受診者数	人	/	143	183	240
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
受診結果において、MCI(軽度認知障害)の早期発見、早期対応ができ、受診後のフォローとして、支援を希望する方には、保健師等が自宅を訪問し、健康指導などを行うことにより、認知症予防に取り組んでいる。また、認知症サポート医が検診を実施するため、必要な方を適切に医療につなげることができている。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	定期的な広報紙への掲載や認知症関連事業においてチラシを配布するなど制度の周知を実施している。
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	多くの方に受診いただくため、制度の周知方法等については随時検討していく必要がある。
--------	---

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	今後、認知症高齢者が増加することが予想されるなかで、検診受診によりMCI(軽度認知障害)の早期発見、早期対応することで、認知症予防に取り組むことができる事業である。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	③高齢者福祉	③	福祉サービスを利用しやすい体制の整備

事業名	介護サービス相談員派遣事業	担当課名	高齢介護課
-----	---------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	施設入所者や介護サービス利用者の意見を聞き、介護サービスの向上・適正化を図る。
(事業概要等)	府の研修を修了し、介護サービス相談員として認定された相談員が施設等を訪問し、利用者や家族から介護サービスに関する疑問等を聴き、サービス提供事業者との橋渡しをすることにより、問題点の改善や介護サービスの質の向上を図る。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	0	0	9	417	
うち市負担分(千円)	0	0	2	81	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
訪問施設数	施設	0	0	2	64
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
施設利用者の相談を受けるとともに、サービス提供側の施設との橋渡しを行うことができた。また、介護サービス相談員から提出される相談記録の内容を確認し、必要と判断した場合は施設に対して相談・指導を行うことにより、サービスの質の向上、介護給付の適正化についても役立っている。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	新型コロナウイルス感染症の感染拡大時においては事業を中止していたが、令和6年3月から再開した。
--------------------	---

【事業の課題】

課題・問題点	新型コロナウイルス感染対策により事業を中止している間に訪問を辞退する施設があったため、改めて協力を求めていく必要がある。
--------	--

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	市民公募によって選出された相談員であるため、なじみの関係も形成され、利用者に安心感を与えているとともに、施設との協力関係の構築にも役立っている。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	③高齢者福祉	4	生活支援サービスの充実と高齢者の社会参加

事業名	家族介護支援特別事業	担当課名	高齢介護課
-----	------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
在宅でおむつを常時使用している高齢者(介護度3~5)又は重度障がい者(身体障害者手帳1級及び2級、療育手帳A等)に介護用品を給付することにより、家庭の経済的負担及び介護する家族の身体・精神的負担を軽減するとともに、要介護者の在宅生活の継続・向上による保健福祉の増進を図る。
(事業概要等)
市民税が非課税又は均等割りのみの世帯で、おむつを常時使用している在宅の高齢者(介護度3~5)又は重度障がい者(身体障害者手帳1級及び2級、療育手帳A等)に介護用品を給付する。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	8,596	8,458	8,817	14,400	
うち市負担分(千円)	1,654	1,628	1,697	2,772	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
利用者数(年度末時点)	人	252	253	274	280
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
おむつ等の介護用品を給付することにより、在宅にて介護を行っている要介護者家族の経済的負担の軽減を図り、在宅生活を支援した。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	介護用品給付申請書の提出については、本人、家族、コミュニティソーシャルワーカーとしていたが、新たにケアマネージャーによる提出も可能とすることで、制度利用を促進した。
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	使用する介護用品のニーズは多様であるため、随時その把握に努めていく必要がある。
--------	---

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	B 改善し継続
上記評価理由および今後の方向性	高齢化の進展に伴い、在宅で生活する高齢者等が増加しているなか、介護を行う家族等の負担軽減に寄与している。令和6年4月までは1ヶ月3,000円を上限としていたが、令和6年5月からは1ヶ月4,000円を上限にするとともに、おしりふき等を対象商品に加え介護用品を給付する。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	③高齢者福祉	4	生活支援サービスの充実と高齢者の社会参加

事業名	介護予防生活支援事業(高齢者等配食サービス事業)	担当課名	高齢介護課
-----	--------------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
在宅の高齢者等に対し、配食サービスの提供を行うことにより、自立と生活の向上を図るとともに、配食サービスの訪問時に利用者の安否確認や孤独感の解消を図り、高齢者等の福祉の増進に寄与する。
(事業概要等)
高齢者等に適した内容で栄養バランスの取れた食事を利用者宅へ配達するとともに、訪問の際、安否確認を行い、健康状態に異常等があった場合には、関係機関への連絡等を行う。 配食については、利用者1人1日1食(夕食)、週5回を限度とし、1食あたり1,045円の食事を利用者負担370円により提供する。

【事業費】

項目/年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	10,602	12,449	14,809	16,200	
うち市負担分(千円)	3,943	5,290	6,611	7,332	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
配食数(安否確認数)	件	18,279	19,331	21,939	22,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
規則的な食事作りが困難な高齢者等に温かい夕食を宅配し、栄養バランスのとれた食生活が確保できたことにより、高齢者の在宅福祉の向上を図ることができた。また、配食時における安否確認等により、高齢者等の健康・福祉の増進に寄与している。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	必要とする方に広く認知し活用してもらうため、関係機関と事業内容の周知に努めた。
--------------------	---

【事業の課題】

課題・問題点	配食サービスと安否確認を実施できる事業者が少ない現状である。 また、安否確認ができない場合は、家族等への連絡や、場合によっては職員による現場確認を行うが、本人が外出しているなどの連絡漏れのケースもあり、制度に対する理解を深める必要がある。
--------	--

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	高齢者等に温かい夕食を宅配し、栄養バランスのとれた食生活の確保に加え、一人暮らし等高齢者の安否確認にもつながっており、在宅高齢者にとってセーフティーネットの役割を担っている。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	③高齢者福祉	4	生活支援サービスの充実と高齢者の社会参加

事業名	介護予防生活支援事業(独居老人等緊急通報装置設置運営事業)	担当課名	高齢介護課
-----	-------------------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
ひとり暮らし高齢者等に対し、緊急通報装置を貸与することにより、急病等の緊急事態に対応し、ひとり暮らし等の不安の軽減を図るとともに、緊急通報装置協力員をはじめとする地域住民の理解と協力により高齢者等が住み慣れた地域社会の中で引き続き生活していくことを支援し、もって、高齢者等の在宅福祉の増進に資する。
(事業概要等)
高齢者等の自宅に緊急通報装置を設置し、24時間体制で緊急通報センターとの通信連絡体制を確保し、急病等の緊急時においては、本人に代わり緊急連絡先に連絡を行う。また、対象者の身体状況等の相談に応じ、迅速かつ適切なアドバイスを行う。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,489	3,122	3,074	3,879	
うち市負担分(千円)	3,489	3,122	3,074	3,879	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
稼働台数(年度末時点)	件	231	225	233	250
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
緊急時におけるひとり暮らし高齢者の不安感を解消することができた。また、緊急時に通報装置を使用することにより、救急車要請等の迅速な対応により大事に至らなかった例も報告されている。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	長期間利用されていない方への連絡を行い、継続の可否等を確認し適切な運営に努めた。
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	親族のいない方の急な入院や死亡により、利用者やその関係者と連絡が取れない状況になった時に、装置の回収が困難である。
--------	---

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	ひとり暮らし高齢者が年々増加していることもあり、対象者の不安を解消するために必要な事業である。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	③高齢者福祉	4	生活支援サービスの充実と高齢者の社会参加

事業名	街かどデイハウス支援事業	担当課名	高齢介護課
-----	--------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
高齢者が住み慣れた地域で暮らしていくことができるよう、介護予防や自立生活へつながる柔軟できめ細かなサービスを提供する住民主体の任意団体を支援し、在宅高齢者の保健福祉の向上に資する。
(事業概要等)
介護保険制度の要支援・要介護認定を受けていない、おおむね65歳以上の在宅の高齢者等に対し、住み慣れた地域で自立した生活を継続することができるよう、通所により介護予防に資する次のサービスを提供する住民参加型非営利団体を支援する。 ○必ず実施すべきサービスー健康チェック、給食、健康体操、筋力向上トレーニングなどの介護予防活動及び閉じこもり予防 ○必要に応じて実施するサービスー趣味・創作活動、レクリエーション活動 ○その他利用者の日常生活の向上に資するサービス

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	10,451	11,913	11,825	12,010	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
利用者数	人	5,666	5,215	5,267	5,300
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
高齢者が自立した生活を維持し、閉じこもりを防ぐことなど介護予防の身近な地域拠点として大きな役割を担っている。					

【事業の見直し】

R4年度からの変更点・改善点	引き続き、必要とする方に広く認知し活用してもらうため、関係機関とともに事業制度の周知に努めた。
----------------	---

【事業の課題】

課題・問題点	住民主体の非営利団体であるため、スタッフの高齢化や後継者不足などの課題がある。
--------	---

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	地域における介護予防の拠点であり、通いの場として、また、地域住民の交流の場としての役割もある。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	③高齢者福祉	4	生活支援サービスの充実と高齢者の社会参加

事業名	金婚祝賀事業	担当課名	高齢介護課
-----	--------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
夫婦の長寿・健康保持を祝福するとともに、高齢者の生きがい、交流の場づくりを行い高齢者福祉の増進を図る。
(事業概要等)
金婚を迎えた夫婦を祝し、祝賀会及び記念写真撮影を行う。(要申込)

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	447	505	582	833	
うち市負担分(千円)	447	505	582	833	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
参加夫婦組数	組	37	38	37	60
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
夫婦の長寿と婚姻関係の永続を祝うとともに、自らの健康保持への意欲等をも高める上で、高齢者福祉の増進を図ることができた。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	新しい生活様式にならない、会食は行わず夫婦と市長との記念写真と夫婦や家族でお祝いができるようホテルレストランの食事券を贈呈した。
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	夫婦の形の多様化している中、市として祝意を表すのが公正性の観点から妥当かどうか検討していく必要がある。
--------	---

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	高齢化の進展、健康寿命の延伸により長寿社会が想定されている、本事業を実施することで敬老意識の醸成ができる。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	③高齢者福祉	4	生活支援サービスの充実と高齢者の社会参加

事業名	見守りSOS事業	担当課名	高齢介護課
-----	----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
認知症高齢者等が行方不明となった場合に、地域の支援を得て早期に発見できるよう、関係機関等の支援体制を構築し、高齢者等の安全と家族等への支援を目的とする。
(事業概要等)
・事前登録された行方不明となる恐れのある認知症高齢者等について、支援要請があった場合、協力関係機関等に連絡し、早期発見に向けた支援を行う。(夜間・休日の対応については市内の社会福祉法人へ委託)

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	64	51	66	89	
うち市負担分(千円)	64	51	66	89	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
事前登録者数	人	55	62	60	65
協力機関数	機関	149	144	145	150
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
地域との連携を図ることにより、行方不明となる恐れのある高齢者等やその家族への支援体制を構築することで早期発見につながり、地域福祉の推進に大きく寄与している。また、認知症への正しい理解にもつながっている。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	必要とする方に広く認知し活用してもらうために、関係機関や地域に配置されたCSWとも連携し、引き続き制度の周知に努めた。
--------------------	---

【事業の課題】

課題・問題点	事業に対する理解、周知が十分ではなく、引き続き啓発等が必要である。また、関係機関との連絡はFAXを使用しているが、今後はメールによる連絡についても検討していく必要がある。
--------	---

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	認知症高齢者の増加が想定されるなかにおいて、セーフティネットづくりの一環として必要不可欠である。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	③高齢者福祉	4	生活支援サービスの充実と高齢者の社会参加

事業名	高齢者緊急一時避難支援事業	担当課名	高齢介護課
-----	---------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
保護者、養護者若しくは配偶者又はこれらの者以外の同居人から虐待や暴力被害、または重度の認知症等により身元判明までに時間を要する高齢者の緊急時における安全確保のための支援を行う。
(事業概要等)
保護者、養護者若しくは配偶者又はこれらの者以外の同居人から虐待や暴力被害、または重度の認知症等により身元判明までに時間を要する高齢者が、一時避難するために要する宿泊費等を支給する。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)			27	1,280	
うち市負担分(千円)			0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
利用者	人			2	
(指標を設定できない理由)					
安全確保が必要な高齢者等に対して緊急的に行うものであるため。					
(成果の概要)					
安全確保が必要な高齢者等を慎重かつ迅速に一時的に避難させることにより身の安全を確保することができた。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	R5年度開始事業
--------------------	----------

【事業の課題】

課題・問題点	高齢者数の増加等に伴い、「身体的」「精神的」「社会的」「経済的」要因が複合的に重なった虐待通報件数が増加するなか、高齢者虐待における自治体の責務として、保護が必要な場合においては、慎重かつ迅速に対応をする必要がある。
--------	--

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	本制度により、保護者、養護者若しくは配偶者又はこれらの者以外の同居人から虐待や暴力被害、または重度の認知症等により身元判明までに時間を要する高齢者等の安全確保を図ることができている。今後も高齢者等の尊厳等を守るべく適切な対応ができるように努める。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	③高齢者福祉	4	生活支援サービスの充実と高齢者の社会参加

事業名	在日外国人高齢者支援事業	担当課名	高齢介護課
-----	--------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

市内に在住する外国人で、年金制度上の理由により国民年金の給付を受けることができなかった者に対し、泉大津市在日外国人高齢者福祉金を支給することにより在日外国人高齢者の福祉の増進を図る。

(事業概要等)

支給対象者から申請のあった日の属する月から受給資格が消滅した日の属する月まで、一人につき月額10,000円を毎年9月及び3月に当該月までの福祉金を支給する。

次のいずれかに該当するときは福祉金を支給しない。

- ・生活保護法に規定する生活保護を受給しているとき
- ・公的年金を受給しているとき
- ・養護老人ホームに入所しているとき
- ・泉大津市外国人心身障害者給付金支給要綱による給付金を受給しているとき
- ・本人及び配偶者又は扶養義務者が老齢福祉年金の全額支給停止に相当する所得の額を有するとき

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	240	170	120	120	
うち市負担分(千円)	240	170	120	120	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
給付人数	人	2	2	1	1

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

支給対象者が生活保護受給や死亡により減少しているが、国の制度を補完する事業として効果をあげている。

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	必要とする方に広く周知し活用してもらうため、引き続き関係各課とも連携し対象者の把握に努めた。
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	数値化して評価することが困難である。
--------	--------------------

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	対象者は老齢年金等の支給やその他の収入のない高齢者であり、社会生活維持のために必要不可欠な事業である。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	③高齢者福祉	4	生活支援サービスの充実と高齢者の社会参加

事業名	長寿祝品配布事業	担当課名	高齢介護課
-----	----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
人生の節目に達した高齢者に祝品を贈呈することにより、長寿を祝い、高齢者の生きがいがいづくりに寄与する。
(事業概要等)
9月の敬老月間に人生の節目に達した高齢者に祝品を贈呈する。 88歳(米寿祝品)、100歳長寿祝品、最高齢者祝品 また、80歳以上の希望者に祝品を贈呈する。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,957	2,265	2,826	3,852	
うち市負担分(千円)	1,957	2,265	2,826	3,852	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
支給件数(米寿祝品)	人	340	325	330	450
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
支給対象者に祝品を贈呈することで、敬老の意を表するとともに、高齢者福祉の向上を図ることができた。					

【事業の見直し】

R4年度からの変更点・改善点	80歳の祝品について、杖または万歩計から選択してもらっていたが、栄養価の高い金芽米を追加し、祝品の種類を増やした。
----------------	---

【事業の課題】

課題・問題点	高齢者人口の増加に伴い、対象者数も年々増加の傾向にあり、事業費が増大している。
--------	---

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	80歳の節目の祝品については、3種類から1つ選択できるが、随時、高齢者のニーズを踏まえ祝品の内容を検討していく必要がある。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	③高齢者福祉	4	生活支援サービスの充実と高齢者の社会参加

事業名	福祉電話貸与事業	担当課名	高齢介護課
-----	----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
安否確認が必要な概ね65歳以上の低所得のひとり暮らし高齢者等へ福祉電話を貸与することにより、緊急時の連絡手段を確保し、住みなれた地域で安心して暮らすことができるよう、高齢者等の保健福祉の向上に資する。
(事業概要等)
安否確認が必要な概ね65歳以上の低所得の電話を所有しないひとり暮らし高齢者等に、緊急時の連絡手段を確保するため、市名義の加入電話の貸与を行う。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	82	82	76	120	
うち市負担分(千円)	82	82	76	120	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
利用者数	人	3	3	2	3
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
安否確認が必要な概ね65歳以上の低所得の電話を所有しないひとり暮らし高齢者等の日常生活上生ずる緊急時の連絡手段が確保されることで、不安解消が図られる。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	必要とする方に利用してもらうため、関係各課や地域に配置されたCSWとも連携し、制度の周知に努めた。
--------------------	---

【事業の課題】

課題・問題点	携帯電話や安価な光電話等が普及しており、利用者も少ない。
--------	------------------------------

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	緊急時の連絡手段が図られ、日常生活上の不安の解消につながる。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	③高齢者福祉	4	生活支援サービスの充実と高齢者の社会参加

事業名	補聴器購入費用助成事業	担当課名	高齢介護課
-----	-------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
難聴による閉じこもりを予防し、積極的な社会参加及び地域交流を促進することで認知症を予防し、健康増進に資する。

(事業概要等)
以下の要件をすべて満たす人が、管理医療機器として認定された補聴器を購入した場合、その費用の一部を助成する。
①50歳以上の市民、②聴覚障がいによる身体障害者手帳の交付を受けていない人、③両耳の聴力レベルがそれぞれ40デシベル以上の人で、医師が補聴器装用を必要と認めた人。
(助成額)生活保護世帯・市民税非課税世帯は、購入費の2分の1助成、上限額50,000円。市民税課税世帯は、購入費の4分の1助成、上限25,000円。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	/	/	2,330	3,772	
うち市負担分(千円)	/	/	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
利用者数	人	/	/	63	80

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)
制度を利用し、補聴器を装用することで聞こえの問題が解消されて、人とのコミュニケーションが取れるようになり、地域での社会参加の促進に寄与した。

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	R5年度開始事業
--------------------	----------

【事業の課題】

課題・問題点	効果的な制度の周知方法の検討。
--------	-----------------

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	今後、認知症高齢者の増加が予想されるなかで、本事業により、人とのコミュニケーションや社会参加を促進することで、認知症予防につながっている。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	③高齢者福祉	4	生活支援サービスの充実と高齢者の社会参加

事業名	訪問理美容サービス利用助成事業	担当課名	高齢介護課
-----	-----------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
在宅で生活している外出が困難な高齢者に対し、自宅において理美容サービスを提供することによって、在宅高齢者の生活衛生の向上及び福祉の増進を図る。
(事業概要等)
在宅で生活している外出が困難な高齢者の自宅を、あらかじめ登録している協力理美容店の理容又は美容師が訪問し、理美容サービスを提供する。その訪問費用の一部を助成する。(1回につき2,000円)

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	/	66	94	410	
うち市負担分(千円)	/	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
登録者数(年度末時点)	人	/	15	23	50
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
在宅で外出ができない高齢者の自宅を訪問し、理容又は美容サービスを提供することで、高齢者の衛生面の向上に寄与している。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	定期的に広報紙に掲載し、制度の周知を行っている。
--------------------	--------------------------

【事業の課題】

課題・問題点	利用者数の伸び率が低い。
--------	--------------

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	在宅で外出ができない高齢者の衛生面の向上の保持ができ、高齢者の精神面でも安定を図ることができる。